

核データ専門部会グループリーダーダ会合

日時 : 平成3年4月11日(木) 10:00~12:00

場所 : 原研本部第3会議室

出席者 : 大沢、川合、松延、岸田、中島、中川、村田(神田代理)、菊池、水本

配布資料

1. 各ワーキンググループ平成2年度活動報告及び平成3年度活動予定

議事:

1. 配布資料1に従って各ワーキンググループの昨年度活動報告と本年度活動計画の説明があった。(説明者は以下の通り、資料参照、内容は省略)

- ・核データ評価国際協力WG(菊池氏)
- ・評価用データベースWG(中川氏)
- ・理論計算コードWG(大沢氏)
- ・FP核データWG(川合氏)
- ・核融合核データWG(村田氏)
- ・放射化断面積WG(中島氏)
- ・PKAスペクトルWG(川合氏)
- ・荷電粒子核データ(松延氏)
- ・光核反応データWG(岸田氏)

2. 荷電粒子核データWGの作業内容と小グループ編成に付いて。

松延氏から荷電粒子核データWGでの討論内容に関する説明があり、以下のような問題点が指摘された。

- ① WGの作業内容が多岐に渡り過ぎている。
- ② 他のWG(理論、放射化、PKA、光核反応)とのオーバーラップがある。

討論の結果、以下のような結論が得られ次回の荷電粒子核データWGで議論し結論をだすことになった。

(1)新たなコードの開発(高エネルギー核データ評価用)は理論計算コードWGが主として担当する。ただし、当WGメンバーの中でコード開発に関心のあるグループは理論計算コードWGの一員として作業に参加する。

(2)加速器遮蔽(核破砕、ファイル化)のSUBグループを作成する。このグループは、高エネルギー陽子を主体とした核データ評価、ファイル化作業を行う。(高エネルギー中性子データも考慮する)。

(3)荷電粒子核データ一般(α, n)、荷電粒子核融合、放射化、ESNIT関連核データ等)を評価するSUBグループを作成する。

(4)コードの開発に関心のあるグループは加速器遮蔽SWGに属し、検討の結果を評価作業に反映させる。

(5)加速器遮蔽と光核反応データの連絡を密にするため、メンバーのオーバーラップをはかる。

(6)ESNIT関連とPKAスペクトルWGとの連絡をはかる。

以上